

Inter×cross
Creative
Center

Inter×cross Creative Center

第二(五)次産業
促進事業
費用補助金

費用事例集

[2015年度]

発行

インタークロス・クリエイティブ・センター
一般財団法人さっぽろ産業振興財団

〒003-0005

札幌市白石区東札幌5条1丁目1番1号

TEL. 011-817-8911 FAX. 011-817-8912 E-mail info@icc-jp.com

URL <http://www.icc-jp.com>

目次

はじめに	2
実施内容	3 - 7
コンテンツ活用事例	8 - 18
アーティスト raco キャラクターグッズプロジェクト	9 - 10
株式会社アッチクリエイティブスタジオ × クリエイター いすか	
ブランド戦略に基づく企業イメージアップ事業	11 - 12
札幌バルナバフーズ株式会社 × クリエイター 札幌大同印刷株式会社	
北海道農業をイメージしたオリジナルキャラクター開発事業	13 - 14
株式会社サングリン太陽園 × クリエイター 株式会社みんなのことは舎	
音楽とクリエイティブを活用した『みよしの』	15 - 16
ブランディング PR 事業	
株式会社テンフードサービス × クリエイター 株式会社ノースエレメンツ	
新規事業分野進出に伴うマーケティング	17 - 18
株式会社三好商会 × クリエイター 株式会社エスコム	

はじめに

1 ICC（インタークロス・クリエイティブ・センター）について

2001年、インタークロス・クリエイティブ・センター（ICC）は、コンテンツ系クリエイターのインキュベーション施設として、全国に先駆け産業振興の目的で設置されました。全国各地からも高い注目を浴び、このICCを参考に活動する地域も出てきました。

特にICCでは、IPビジネス（著作権ビジネス）を中心に置いたコンテンツ制作をメインの産業ととらえ、映像・音楽のクリエイターのみならず、登山家、料理関係、メイクアップ等まで様々なクリエイティブ分野のコンテンツを範疇に、ユニークな人材を育成・輩出してきました。

12年間に輩出したクリエイターは64組、その他ICCの施設に関連したプロジェクトも入れると72組の創造的活動がここから発信されてきました。

3年間のインキュベーション期間を経て、世界中へ飛び出しているICCクリエイターたちは、ICCの遺伝子を携え様々な創造活動を行っています。新しいICCは、この素晴らしいクリエイターたちはもとより、多くのアイデアをもった人たちがさらに集まり、価値あるアイデアを共有することにより、新たなプロジェクトを創出していく拠点となります。

質の良い「種」が生まれ、そこに肥沃に耕された「土」「雨や肥料」を得ることで、新たな創造的な産業の花を咲かせ実をつける。そんな新産業への足がかりとなる有機的なプロジェクトの創出を、新しいICCのミッションとします。

ICCチーフコーディネーター 久保 俊哉

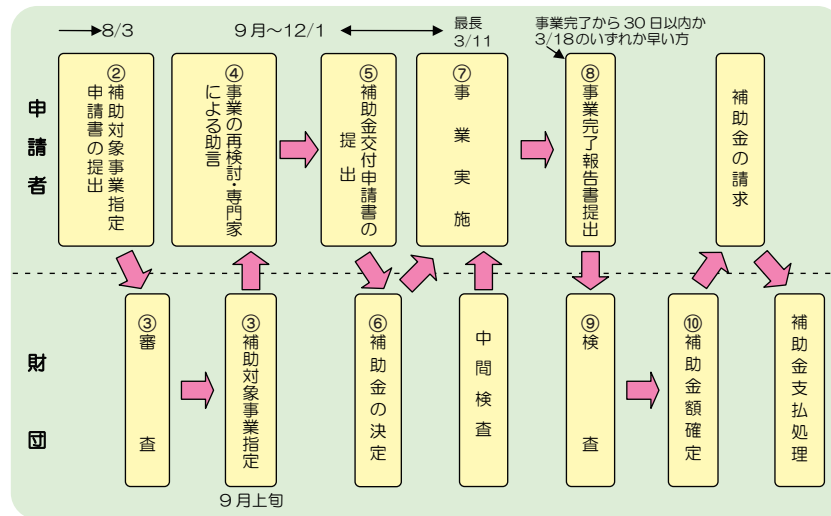


2 本補助金について

北海道内の中小企業者等が自社の経営課題を解決するために、札幌市内のクリエイター等と連携し、新たなコンテンツ等の活用を行う取り組みに対して、その費用の一部を補助する制度です。本補助金を活用することにより、札幌市内のコンテンツ関連市場の拡大や市内クリエイター等と道内中小企業との連携促進を図り、市内クリエイター等及び道内中小企業の競争力及び成長性を醸成させ、札幌市経済の活性化に寄与することが目的です。

実施内容

1 補助対象事業採択から補助金確定までのフロー（H27年度版）



①公募期間

平成27年5月29日～同年8月3日17:00まで

②補助対象事業指定申請書の提出

③審査・補助対象事業の採択

専門家による審査（必要に応じて面接）を行い結果を通知

④事業の再検討・専門家による助言

審査委員による助言等をフィードバックし、ブラッシュアップ期間を設ける。

⑤補助金交付申請書の提出（12月1日17:00まで）

⑥補助金の決定

⑦事業実施期間（補助対象事業指定日～完了日まで）

⑧事業完了報告書の提出

⑨検査

⑩補助金額の確定

2 応募数と採択事業数

7件の応募のうち5件の事業を採択

◆「アーティスト raco キャラクターグッズプロジェクト」
（株式会社アッチクリエイティブスタジオ）

◆「ブランド戦略に基づく企業イメージアップ事業」
（札幌バルナバフーズ株式会社）

◆「北海道農業をイメージしたオリジナルキャラクター開発事業」
（株式会社サングリン太陽園）

◆「音楽とクリエイティブを活用した『みよしの』ブランディングPR事業」
（株式会社テンフードサービス）

◆「新規事業分野進出に伴うマーケティング」
（株式会社三好商会）

3 「コンテンツ活用促進事業費補助金」公募説明会

日時：平成27年6月4日（木）14:00～16:00 参加人数：72名

内容：札幌市内のクリエイター等と、道内の他産業（食、観光、環境、健康、福祉分野等）を対象とした公募説明会。H26年度採択事業『北海道発オリジナル小豆ブランドの商品および販促PRツールの開発』の報告会と個別相談会実施。



4 関連セミナー

(1) 第1回コンテンツ活用促進セミナー

～メビック扇町発コラボレーションの取り組みと事例紹介～

日時：平成27年7月2日（木）15:00～18:30 参加人数：39名

講師：公益財団法人大阪市都市型産業振興センター

クリエイティブネットワークセンター大阪「メビック扇町」

所長・チーフコーディネーター 堂野智史氏

内容：大阪のクリエイティブ産業の活動を支える中核的な支援施設「メビック扇町」の活動紹介や、企業とクリエイターのコラボレーションで双方に求められる「要素」について提案。平成26年度採択事業『札幌発のスキンケア製品のブランディングと販促ツールの開発』の報告会。



(2) 第2回コンテンツ活用促進セミナー

～地域のクラウドファンディングを活用した中小企業の食関連製品の開発とマーケティングの手法について～

日時：平成27年7月10日（金）15:30～18:30 参加人数：41名

講師：株式会社アクトナウ 代表取締役社長 杉山央氏

内容：札幌商工会議所との共催。クラウドファンディングを活用し、食関連製品の開発・マーケティングを行った実例と具体的な企業メリットを紹介し、事業展開に向けた資金調達方法を提案。

平成26年度採択事業『鈴木農園の無農薬米ファン拡大作戦』の報告会。



(3) 第3回コンテンツ活用促進セミナー

～クリエイターの上手なビジネス活用とそこから生まれる知的財産の権利保護～

日時：平成27年7月23日（木）15:30～18:30 参加人数：33名

講師：佐川慎悟国際特許事務所 所長弁理士 佐川慎悟氏

内容：「クリエイターのチカラ」をビジネスに活かした、より身近な知的財産権の活用事例を紹介し、企業が新商品を売り出す前に行う具体的な権利保護の種類やそのメリットなどを解説。ビジネスに欠かせない知的財産権の全体像をわかりやすく紹介。



(4) 第4回コンテンツ活用促進セミナー

～映像コンテンツによるコミュニティ・ブランディング～

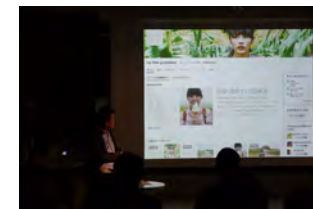
日時：平成27年12月18日（金）18:00～20:30 参加人数：46名

講師：映画監督 逢坂芳郎氏

十勝シティデザイン株式会社 代表取締役/ワイガヤ十勝 代表 柏尾哲哉氏

内容：十勝の観光・経済活性化を目指した台日プロジェクトを紹介。

北海道十勝を舞台にした短編映画『my little guidebook』にみる、『映像コンテンツ』の活用と地域活性化の可能性を提案。



(5) 第5回コンテンツ活用促進セミナー

～西山ラーメンの海外戦略とコンテンツ活用の可能性～

日時：平成28年2月23日（火）16:30～19:00 参加人数：61名

講師：西山製麺株式会社 代表取締役社長 西山隆司氏

内容：国内外でのラーメン文化の発信・醸成に取り組む西山製麺。
その情報発信・販売促進における、コンテンツ（デザイン等）の
活用事例・活用可能性を共有し、コンテンツ産業との連携や、
食関連産業における海外展開のヒントを探る。

2014年度 実施報告

H26 年度「コンテンツ活用促進事業費補助金」実施報告

『札幌発スキンケア製品のブランディングおよび販促ツールの開発』

株式会社 Savon de Siesta × クリエイター 株式会社ノイエカ / drop around

『鈴木農園の無農薬米ファン拡大作戦』

鈴木農園 × クリエイター 合同会社ことら（現在 株式会社エンターリム）

『オリジナル販促ツールの開発』

株式会社 HandMade × クリエイター 株式会社アジアン・スマイルコム

『北海道発オリジナル小豆ブランドの商品および販促 PR ツールの開発』

株式会社もりもと × クリエイター デザインアドミニストレーター引地幸生
キタイトデザイン
Commercial Studio Platinum

詳細は、こちらのページでご確認ください。

URL <http://www.icc-jp.com/news/k5tpf40000000xje.html>

コンテンツ活用事例

- アーティスト raco キャラクターグッズプロジェクト 9 - 10
株式会社アッチクリエイティブスタジオ × クリエイター いすか
- ブランド戦略に基づく企業イメージアップ事業 11 - 12
札幌バルナバフーズ株式会社 × クリエイター 札幌大同印刷株式会社
- 北海道農業をイメージしたオリジナルキャラクター開発事業 13 - 14
株式会社サングリソ太陽園 × クリエイター 株式会社みんなのことば舎
- 音楽とクリエイティブを活用した『みよしの』 15 - 16
ブランディング PR 事業
株式会社テンフードサービス × クリエイター 株式会社ノースエレメンツ
- 新規事業分野進出に伴うマーケティング 17 - 18
株式会社三好商会 × クリエイター 株式会社エスコム

アーティスト raco キャラクターグッズプロジェクト

企業情報 株式会社 アッチクリエイティブスタジオ

住所 〒060-0061 札幌市中央区南1西10丁目4-167 6F
TEL 090-2816-9306
URL http://music.geocities.jp/a_creative_studio/
代表者名 黒田 厚
事業内容 タレントマネジメント、イベント運営

連携クリエイター いすか

住所 非公開
TEL/FAX 011-556-7632
代表者名 いすか
URL http://twitter.com/eri_syumi
E-mail wwtnk984@ybb.ne.jp

事業内容

現状課題

北海道・札幌を中心に展開している芸能プロダクションとして10年目を迎えるが、自社の特徴である、所属タレント自身の趣味や特技を活かしたタレントのプロモーションについては、まだまだその認知度は低い。特に、札幌を拠点に活動している新人タレントracoについては、地元で根付いたイベントへの参加を通して、キャラクターの認知度を上げることで、地元の固定ファンを増やすことが必要。

制作されたコンテンツ

アーティスト raco のキャラクター化

アーティスト raco のキャラクターグッズ制作



■ポストカード



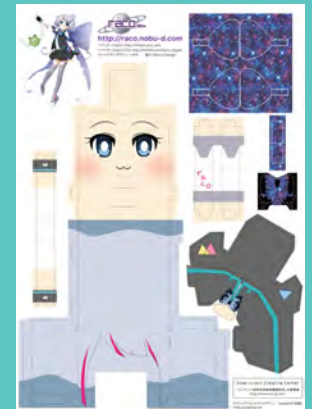
■スタンプカード



■エコ加湿器 (2way エコバック)



■クリアファイル



■ペーパークラフト

VOICE

今回採択されたことにより、racoの質の高いプロモーショングッズを作る事ができました。実際に、札幌、東京、千葉と、各イベント会場での試験販売では、予想をはるかに超えたファンの皆様の反応に大変驚きを感じましたし、新人アーティストのプロモーションとして、良いスタートを切ることができたことに大変感謝しています。本プロジェクトをきっかけに、racoが北海道・札幌を代表する芸能人になれるよう、今後も札幌のクリエイターと連携したプロモーションを展開していく予定です。

審査員より

使ってもらった広告の良事例。手に置くことでコンテンツとの接触時間が増え、認知や親和性が高まるという、あえて奇をてらわない王道のプロモーション。新たなグッズの開発により、さらに広がり生まれることを期待します。

ブランド戦略に基づく企業 イメージアップ事業

企業情報 札幌バルナバフーズ株式会社

住所 〒063-0849 札幌市西区八軒9条西10丁目1-37
 TEL/FAX 011-643-2581 / 011-643-4241
 URL <http://www.barnabas.jp/>
 代表者名 中川 美樹也
 事業内容 ハム・ソーセージ及び弁当並びに水産加工品の製造・販売

連携クリエイター 札幌大同印刷株式会社

住所 〒062-0905 札幌市豊平区豊平5条5丁目2-25
 TEL/FAX 011-823-6115 / 011-823-8049
 代表者名 本間 翼
 URL <http://www.dioce.co.jp/daido/index.html>

事業内容

現状課題

ギフトは当社売上の約4割を占める大切な市場であるが、数多い競合他社の中でどうアピールできるか、差別化が求められている。また、小売り商品においても、パッケージやしおりのデザインが混在しており、ブランドの統一化が図れておらず、バルナバハムの商品としての認知度が低い。最近では、ギフトの主流である塊のハムの切り方や食べ方に関する問い合わせも増えているが、現状ではそのような部分に触れているコンテンツが少なく、お客様にとって不親切であるばかりではなく、中元・歳暮等の繁忙期には、電話対応担当者の負担が大きな課題でもある。

制作されたコンテンツ

ブランドイメージにもとづいた、バルナバハムのブランドブック



■ブランドブック



VOICE

今回コンテンツを制作するにあたり、コンセプトを明確にするためのクリエイターとのヒアリングの中で、自社の商品の魅力や強みを再確認することができたのは思わぬ収穫でした。デザイン性の高いブランドブックに仕上がったことは勿論ですが、実用的な内容（食べ方やレシピ）を盛り込んだことで、使い捨てにならないコンテンツになったのではないかと感じています。ギフトでの使用にとどまらず、店舗販促や、営業ツールとしても幅広く活用していきます。

審査員より

ギフトを贈られた人の満足度を高めるために「ブランドブック」を制作するという受け手の立場に立った着眼点は評価に値します。今後、ギフトの受け手が送り手になるようなビジネスの广がりにつながることを期待します。

北海道農業をイメージした オリジナルキャラクター開発事業



企業情報 株式会社サングリン太陽園

住所 〒003-0030 札幌市白石区流通センター6丁目1-18
TEL/FAX 011-892-6281 / 011-801-2183
URL <http://www.sun-green.co.jp/>
代表者名 北濱 宏一
事業内容 農業生産資材卸売（農業用薬品・農業用資材等）

連携クリエイター 株式会社みんなのことば舎

住所 〒062-0042 札幌市中央区大通6丁目5番地4 58 山京ビル 6F
TEL/FAX 011-252-5547 / 011-252-5567
代表者名 和田千賀子
URL <http://www.minna.jp>
E-mail office@minna.jp

事業内容

現状課題

PB商品「ぞうさん」シリーズのネーミングが浸透していない。また、高齢化や後継者不足による農業従事者の減少、輸入農作物の増大、そして化学肥料と比べて有機化成肥料の認知度が低い等が要因となり、売上は伸び悩んでいる。新規顧客の開拓に向けたPR戦略の一つとして、独創的なデザインのノベルティやプロモーション映像を取り入れたいが、コンテンツ分野の開発等に関する経験やスキルがない。

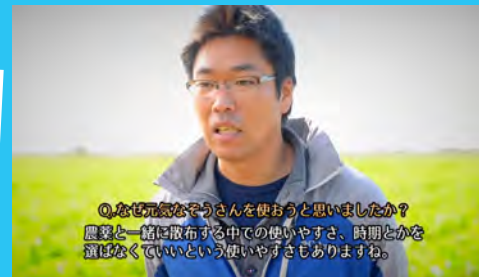
制作されたコンテンツ

オリジナルキャラクターの開発、ノベルティ製作 オリジナルキャラクターによるプロモーション映像



■オリジナルキャラクター
「作物とれ太」

■キャラクター
デザインマニュアル



■PRビデオ



■ぬいぐるみ



VOICE

「作物とれ太」と名づけたオリジナルキャラクターを活用したノベルティやプロモーションビデオを製作。お客様の認知度向上や正確な商品情報、魅力を伝える情報発信手段として役立てることができました。また、親しみあるデザインにより、かわいいといった共感をいただく機会が増えたので、確実に商品のイメージアップに繋がり、店頭での取扱店の増加や実売へと繋げることができました。今後は、商品のイメージキャラクターに留まらず、企業ブランドしてみなさまに愛されるキャラクターに育てていきたいです。

審査員より

かわいらしいキャラクターを活かした今後のプロモーションに期待するとともに、その世界観や使い方のレギュレーション、それによって何を伝えるのかという、VIマニュアルの制作を期待します。

音楽とクリエイティブを活用した 「みよしの」ブランディング PR 事業

企業情報 株式会社テンフードサービス

住所 〒065-0042 札幌市東区本町2条10丁目2番1号
TEL/FAX 011-784-9292 / 011-786-6531
URL <http://www.tenfood.co.jp>
代表者名 西田 治
事業内容 食堂業

連携クリエイター 株式会社ノースエレメンツ

住所 〒060-0061 札幌市中央区南1条西16丁目1番地323 春野ビル3F
TEL 090-8845-0544
代表者名 殿木 達郎
URL www.north-e.net
E-mail tonoki@north-e.net

事業内容

現状課題

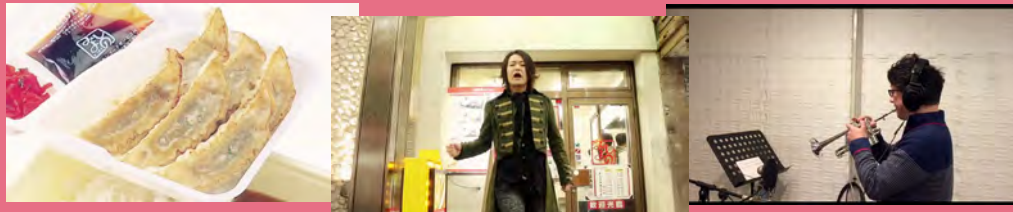
弊社は歴史・味・認知度においては大きな財産としてあるものの、これらの強みを活かした広告宣伝やプロモーションは不得意である。創業以来多くのお客様に支えられ今日まで在り続けているものの、多くのチェーン参入によりお客様の選択肢が広がり競争は激化している。そのような中、道外・海外からの観光客や地元若年層に向け、オリジナルの宣伝手法や話題性を生むコンテンツを仕掛け、新たなお客様を獲得したい。

制作されたコンテンツ

「みよしの」オリジナルテーマソング（日本語・繁体語）

オリジナルテーマソングのプロモーションビデオ

ファン専用 SNS サイト



■ テーマソング PV

<https://www.youtube.com/watch?v=rFJj5GTzaFs&feature=youtu.be>

VOICE

常識的な紙ベースの販促を続けてきた我が社にとって、「みよしの」をブランドと捉えブランディングするという手法は全くなかった発想です。インパクトある楽曲配信と SNS を活用した手法により、「みよしの」が一気に拡散されあらゆる反響が生まれました。従来の顧客にとっては食欲を促す来店動機に繋がり、SNS では“知る人”から“知らない人”へ「みよしの」の魅力が伝え継がれました。札幌で活躍するクリエイターの作品は多くのメディアに取上げられ、必然的に「みよしの」は露出が増えることになりました。

審査員より

企業自身が課題を明確に把握しており、世代を超えた「ファン獲得」の手段として、歌を活用するというユニークなアイデアは評価に値します。今後は、既存のテーマソングとの住み分けを確立し、みよしのファンとともに歩む長期プロモーションを期待します。



■ テーマソングジャケット（繁体語）



■ フライヤー

新規事業分野進出に伴う マーケティング



企業情報 株式会社三好商会

住所 〒060-0042 札幌市中央区大通西18丁目1番地
 TEL/FAX 011-631-7111 / 011-631-7118
 代表者名 三好 康裕
 URL <http://miyo-c.com>
 事業内容 OA機器・事務機・事務用品・オフィス家具及びクラウドシステムの販売

連携クリエイター 株式会社エスコム

住所 〒062-0933 札幌市豊平区平岸3条6丁目1-49 タツロービル
 TEL/FAX 011-799-0882 / 011-799-0883
 代表者名 長井 伸樹
 URL www.escom.bz
 E-mail nobuki.nagai@escom.bz

事業内容

現状課題

すでにビジネスソリューション部ICT課を設置し、従来の事務機器販売のみならず、ビジネスソリューション全般にわたる提案を顧客に行ってきたが、「事業コンテンツのわかりづらさ」が解消されておらず、この分野に特化した、新しいマーケティングの必要性を感じている。単なるアプリケーション販売にとどまらない、地元企業として、企業と密着した形でIT技術の活用をサポートし、共に発展していく必要がある。

VOICE

IT技術を核としたビジネスソリューション提案を行う中、「お客様の為になる」のは何か？多様化するビジネスの表現方法を社員間で共有する事が出来ずにいました。今回、初心に戻りお客様の為に出来る事をプロジェクトチームで考え直した結果、明確なコンセプトが出来上がりました。そのコンセプトがデザインとして形になり、今まで漠然としていたビジネスを明確にアピール出来るようになりました。クリエイターと共に創り上げたブランドイメージは、上のステージを目指す為のツールとして活用していき、お客様と共に発展していきます。

審査員より

社内プロジェクトを立ち上げるなど、社員一人一人の「自分ごと化」を行った丁寧な取り組みを評価。ブランディングの軸ができたことで、今後、予算に応じたツール展開・プロモーションへの拡大も円滑に行うことができる良事例。

制作されたコンテンツ

ブランドネームの開発

ブランドイメージの構築 (ロゴタイプ、ロゴマーク)

各種ツールの開発 (ブランドブック、ブランドリーフレット、社章、専用WEBサイト)



■ブランドリーフレット



■ブランドブック



■社章